

農業委員会だより

29年度事業計画を決定

第135回農業委員会総会が4月17日、本庁舎で開催されました。

農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の解消など農業を取り巻く情勢が一層厳しさを増している中で、農地を守り有効活用を促進するため、農業委員会の果たす役割はますます重要になってきています。

28年4月1日に改正農業委員会法が施行され、新体制となつて2年目を迎えました。同総会では、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農業者が将来にわたり夢と希望をもち、持続可能な農業・農村の構築に向けた取り組みの充実・強化を図ることが重要であることを確認し、本年度の事業計画を決定しました。主な内容は次のとおりです。



昨年度の農地パトロール

〈事業内容〉

①会議の開催

総会や運営委員会を開催し、重要課題に取り組み。また、農地利用最適化推進委員との連携を進めるため、地区会議・代表者会議・全体会議を開催する。

②研修および調査の実施

農地利用最適化の推進に取り組むため、農業委員と農地利用最適化推進委員の研修を実施する。

③関係機関などとの連携強化

地域農業の振興を図るため、市および農業関係機関・団体と連携し、最新の農業情勢・経済情報を的確に把握する。

◇農地中間管理機構や北上市農業支援センターとの連携強化
◇きたかみ地域農業マスタープランの実践

④広報、相談活動の強化

積極的な農政関連情報の提供や相談活動を強化する。

⑤再生利用が可能な遊休農地の有効利用促進

農地パトロールの結果をもとに、遊休農地となった農地について、所有者の意向を確認し、利用促進の指導を実施する。

また、「農地パトロール(利用状況調査)強調月間」を設定し、優良農地の確保とその有効利用に取り組む。

⑥「農地の日」における実践行動の実施

⑦関係機関に対する意見

農業者や地域農業の立場に立った施策を実現するための意見書を提出する。

⑧その他取り組む事業

●農地調整事業
優良農地の確保と遊休農地の有効利用の促進

◇農地法などに基づく審議
◇農地の利用調整

◇贈与および相続に伴う納税猶予手続きの指導・助言

●農政活動事業

◇地域の農地と担い手を守り活かす運動の展開

・「農業者等との意見交換会」の開催
・食育・食農の推進

●農業者年金業務事業

◇政策支援制度の周知
◇農業者年金の加入促進・相談会の開催



昨年度の「農業者等との意見交換会」

農業・農地のことを ご相談ください

各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員は次のとおりです。気軽にご相談ください。

西部	西南	中部	北部	東部	南部	地区
高橋 忠孝 高橋 民行 高橋 純子	高橋 多一 佐藤 幸枝 菊池 慶幸 小田嶋 勝治	伊藤 義明 佐藤 良一 下瀬川 正真	伊藤 淳 小原 富美雄 千田 喜美子	昆野 広子 高橋 清久	遠藤 修子 児玉 雅彦 佐藤 幸太郎 松田 悦子	農業委員 農地利用最適化推進委員
藤根	横川目 煤孫 岩崎	江釣子	飯豊 二子 更木	口内 墨岩 稲瀬	黒沢尻 相去 鬼柳	担当エリア
高橋 正美 高橋 正明 高橋 顕裕	菊池 善友 高橋 貴志 菊池 直志	阿部 歳和 亀田 勇二	高橋 弘 八重樫 重徳 小原 長榮	菅野 利博 佐藤 清一 及川 利喜夫	菅原 孝 佐藤 昌平 松田 繁 及川 定美	氏名

(50音順)

◆農業や農業委員会に関することなどは地域の農業委員や農業委員会事務局に、気軽にご相談ください。
お問い合わせ 北上市農業委員会事務局（本庁舎3階） ☎ 72-8247

■審議データ

農地の権利移転・利用権設定等審議内容

農地法	上段 審議件数 下段 面積(m ²)		
	3月	4月	5月
3条	14 29,061	3 1,340	2 19,077
4条	2 2,009	0 0	4 6,406
5条	6 3,614	11 5,731	6 3,184
適用外証明	4 12,510	1 180	2 865
農用地利用	261	49	29
集積計画	1,621,191	267,005	183,019

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合で受け手側が大規模農家の場合

こだわりの野菜を栽培

伊藤修司さん(更木)

伊藤さんは、昨年奥さんの実家のある更木地区に新規就農者として来ました。仙台市の出身で陸上自衛隊に2年間勤務していました。が退職し、1年間に有機農家での農業研修を経て、無化学肥料、無農薬の野菜栽培に取り組んでいます。昨年、伝統野菜や固定種野菜など約70品種を栽培し、季節の野菜パックを「ヤサイノイトウ」の名前でインターネットや市内の飲食店、マルシェなどで販売して好評を得ました。作付面積は70坪から今季は約1畝に増え、地域の遊休農地の活用にも協力していただいています。

形も大きさもバラバラです。



畑の中で笑顔の伊藤さん

パーでは見かけることの無い個性豊かな野菜を栽培している伊藤さん。今後の抱負や思いなどをうかがったところ「お客さまの笑顔、おいしかった、と言ってもらえる喜びが一番」と目を輝かせながら語っていました。

これからも、こだわりの野菜作りを続ける強い姿勢が見られた「ヤサイノイトウ」さんでした。

(農業委員 千田 喜美子)

第1回北上市農業委員会全体会議

市農業委員会は4月25日、プランニュー北上で「第1回北上市農業委員会全体会議」を行いました。会議には、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局が出席し、29年度の農業委員会事業計画について協議しました。

同委員会は、新体制となって2年目を迎えました。同会議では、農業者が将来に夢と希望を持ち、農業に取り組むことができる農業・農村の構築に向け、与えられた責務と役割を十分に果たすため、積極的に事業に取り組むことを確認しました。

また、29年度からの新たな取り組みとして、子どもたちを対象とした職業体験イベントに同委員会も参加し、農業体験活動を行います。ぜひイベントへの参加をお願いします。

(農業委員 児玉 雅彦)



あいさつをする佐藤幸太郎農業委員会会長

安心して豊かな老後を！
農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は、自らが納めた保険料とその運用収入を将来受給する年金の原資として積み立て、運用実績により受給額が決まる確定拠出型年金です。そのため、加入者や受給者の数に影響されない安定した制度となっています。

また、納付した保険料は全額、社会保険料控除の対象になります。詳しくは農業委員会事務局または最寄りの農協までご相談ください。



全国農業新聞を購読しませんか？

全国農業新聞は、先進的な農業経営者の取り組み事例や農政問題の正確・公正な情報と解説を中心に、農業経営や暮らしの改善に役立つ情報を提供しています。

毎週金曜日の発行で、一カ月の購読料は700円です。購読のお申し込みは同事務局へ。